

(学校番号202)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【常盤中学校】

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題> 国語・数学の「知識・技能」において、高い水準を維持しつつ、令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果より2pt向上を目指す。 <指導上の課題> 生徒一人ひとりが課題を設定し、解決する能力をつける授業を学校全体で取り組んでいく。	⇒ 教科会を月1回行い、自ら課題設定できる授業の検討を行う。 【学びの指標にて、自ら課題を設定できる項目を昨年度から1pt向上させる。】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語の「読むこと」、数学の「資料の活用(資料を読み取ること)」において、高い水準を維持しつつ、令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果より1pt向上を目指す。 <指導上の課題> 朝読書の時間を確保し、生徒が静かに書物を読める環境づくりを全職員で行う。	⇒ 朝読書の時間の10分間を継続し、時間を確保することで、日頃から書物に親しむ機会を増やす。 【令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果より1pt向上を目指す。】

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	平均正答率が国語も数学も埼玉県や全国平均より10%~15%上昇しており基礎知識の定着が図れている。理由としては、各教科の基礎部分の授業の検討が十分にされているからと考えられる。
思考・判断・表現	平均正答率が国語も数学も埼玉県や全国平均より15%~20%上昇しており思考・表現・判断の力がついている。また数学のデータの活用において平均正答率が高いことから、普段の授業などでデータを解析する力が身につけていると考えられる。

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	月1回の教科会を実施し、自ら課題を解決する授業の検討ができた。	教科会の内容を、校内研修で検討し、精査している。
思考・判断・表現	B	朝読書を継続的に行うことができ、表現力は向上してきた。	朝読書の質を高め、さらに読解力を深めることで生徒の表現力も高める。

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語の「読むこと」や「書くこと」などさいたま市平均より、約7ptアップしていた。また数学の、「数と式」では11ptアップしていた。このことから国語や数学の基礎が普段の授業などで定着できている生徒が増えてきたことが考えられる。
思考・判断・表現	国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、8ptのアップが見られ、普段の読書の習慣により、言語の特徴などをとらえることができている。また社会や理科などは国語や数学よりは上昇ptは低いですが、全体的にさいたま市平均を5pt以上アップしており、学習習慣が身につけている。

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能	A	全国学力・学習状況調査は15ptの上昇、さいたま市学習状況調査では平均6~8pt以上の上昇が見られたため、授業改善策は達成できたと考えられる。
思考・判断・表現	A	全国学力・学習状況調査は15~20ptの上昇、さいたま市学習状況調査では6~8ptの上昇が見られたため、授業改善策は達成できたと考えられる。

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	国語・数学の「知識・技能」において、高い水準を維持しつつ、令和6年度全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査の自校の結果より2ptの向上を目指す。そのために、普段の授業においてICT等を活用し、知識の習得を推進していく
思考・判断・表現	国語の「読むこと」、数学の「資料の活用(資料を読み取ること)」において、高い水準を維持しつつ、令和6年度全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査の自校の結果より2ptの向上を目指す。そのために朝読書の充実や文章を読む力、話す力を教科横断的に行っていく。

※評価
A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)